

29 ガリラヤ伝道

▶ヨハネによる福音書 4 : 43~46

二日後、イエスはそこ（→サマリア）を出発して、ガリラヤへ行かれた。イエスは自ら、「預言者は自分の故郷（→ナザレ）では敬われないものだ」とはっきり言われたことがある。ガリラヤにお着きになると、ガリラヤの人たちはイエスを歓迎した。彼らも（過越しの）祭りに行ったので、そのときエルサレムでイエスがなされたことをすべて、見ていたからである。イエスは、再びガリラヤのカナに行かれた。→シケム（シカル）周辺の多くのサマリア人は、イエスを神が選んだメシアと信じた。しかし、ガリラヤにある故郷ナザレの多くの者たちは、イエスをメシアとして受け入れないことをイエスは察知していた。→ナザレの北北東 6km のケフル・ケンナ（Kafr Kanna）がカナとされていたが、現在はナザレの北 14km のキルベト・カーナ（Khirbet Qana）の遺跡とされている。

▶マタイによる福音書 4 : 12~17

イエスは、（バプテスマの）ヨハネが捕らえられたと聞き、ガリラヤに退かれた。そして、ナザレを離れ、ゼブルンとナフタリの地方にある湖畔の町カファルナウムに来て住まわれた。それは、預言者イザヤを通して言われていたことが実現するためであった。「ゼブルンの地とナフタリの地、／湖沿いの道、ヨルダン川のかなたの地、／異邦人のガリラヤ、暗闇に住む民は大きな光を見、／死の陰の地に住む者に光が射し込んだ。」

そのときから、イエスは、「悔い改めよ。【天の国】は近づいた」と言って、宣べ伝え始められた。

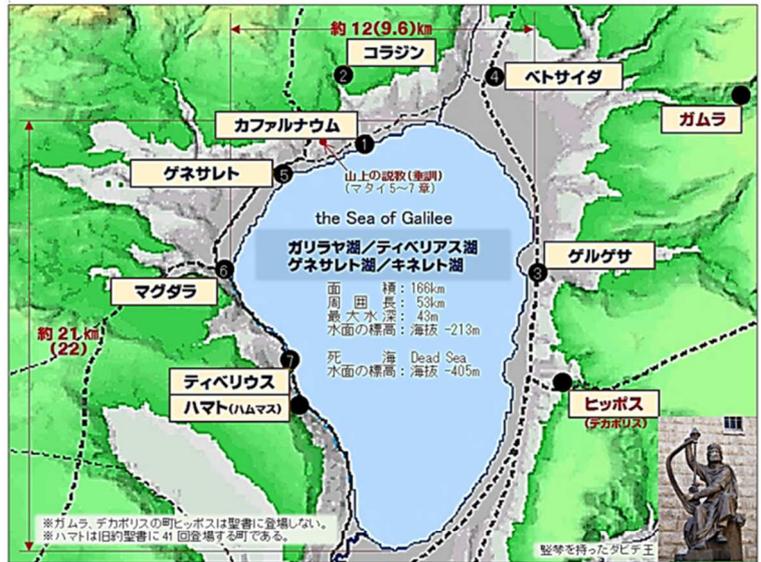
→天（＝神）の国は、神の永遠の支配を指す。神の支配は、人がどのように神に従って生きていくべきかについての教えを含んでいる。なお、マタイによる福音書は、ユダヤ人のマタイがユダヤ人を対象にして書かれた。そのため、マタイは、ユダヤ人の心情を配慮し、「神」という言葉を使わず、「天」という言葉を敢えて使用している。

▶マルコによる福音書 1 : 14~15

ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤへ行き、神の（→神から与えられた、神に関する）福音（→良い知らせ）を宣べ伝えて、「**①**時は満ち（→メシアが到来する時が来た）、**②**【神の国】は近づいた。**③**悔い改めて**④**福音を信じなさい（→イエスをメシアとして受け入れなさい）」と言われた。

→神の国は、神の永遠の支配を指す。神の支配は、人がどのように神に従って生きていくべきかについての教えを含んでいる。＝メシア的王国（ユダヤ人が使う言葉）→異邦人：千年王国

→悔い改め＝メタノイア：完全な方向転換、悔い改める＝自分の心を変える（視座を移す）ことで、救いを獲得するための行いではない。



ガリラヤ湖畔周辺の町

湖の形が「竪琴」に似ていることから、ヘブライ語で「竪琴」を意味する「キノール」に由来して「キネレト」とも呼ばれています。旧約聖書ではキネレト湖（民数記 34 : 11、申命記 3 : 17、ヨシュア記 12 : 3、13 : 27）として登場する（最新の聖書協会共同訳では「キネレトの海」となっている）。



▶ルカによる福音書 4 : 14～15

イエスは“霊”の力に満ちてガリラヤに帰られた。その評判が周りの地方一帯に広まった。イエスは諸会堂で教え、皆から尊敬を受けられた。

→イエスは、教師であり、弟子たちのラビであり、預言者である。

→“霊”の力：ルカによる福音書は、神の霊がイエスや人々に働くことをしばしば記している。

→会堂＝教会ではなく、ユダヤ教のシナゴグ。ギリシャ語のシュナゴゲー（集会所）に由来する。

バビロン捕囚期に神殿を失ったユダヤ人たちが聖書朗読、解説、礼拝等を行う場所とした。

【参考】故郷では・・・

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 4 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
S マタイによる福音書	13:57 このように、人々はイエスにつまずいた。イエスは、「預言者が敬われないのは、その故郷、家族の間だけである」と言い、	
S マルコによる福音書	6:4 イエスは、「預言者が敬われないのは、自分の故郷、親戚や家族の間だけである」と言われた。	
S ルカによる福音書	4:24 そして、言われた。「はっきり言っておく。預言者は、自分の故郷では歓迎されないものだ。	
S ヨハネによる福音書	4:44 イエスは自ら、「預言者は自分の故郷では敬われないものだ」とはっきり言われたことがある。	

▶私たちが信じる福音は、I コリ 15:1～4 に記されている。

→兄弟たち、わたしがあなたがたに告げ知らせた福音を、ここでもう一度知らせます。これは、あなたがたが受け入れ、生活のよりどころとしている福音にほかなりません。どんな言葉でわたしが福音を告げ知らせたか、しっかり覚えていれば、あなたがたはこの福音によって救われます。さもないと、あなたがたが信じたこと自体が、無駄になってしまうでしょう。最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです。

すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりに①わたしたちの罪のために死んだこと、②葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに③三日目に復活したこと、

- | | | |
|---|---|---------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. キリストは、私たちの罪のために死なれた。 2. キリストは、葬られた。 3. キリストは、三日目に復活した。 | } | 福音の三要素 →受け入れる→真のクリスチャン
(信じる) |
|---|---|---------------------------------|

▶千年王国(メシア的王国)の成就への概要

- < 1 > イエスの死、復活、昇天によって、聖霊が降った。
- < 2 > ペンテコステの日に教会が誕生した (→教会時代)。
- < 3 > 救われる異邦人の数が満ちる時まで、教会時代は続く。
- < 4 > 教会 (→真のクリスチャン) が携挙される (→患難期前携挙説)。
- < 5 > 大苦難 (患難) 時代 in 世
- < 6 > 再臨
- < 7 > 千年王国 (メシア的王国) の預言が成就する。